

令和４年度第４回芽室町総合計画審議会 議事録

令和４年９月７日（水）18:30～20:08

芽室町役場２階会議室 ７・８

■出席委員（13名）

明瀬委員、小池委員、小林委員、珠玖委員、白銀委員、鈴木委員、高道委員、鳥本委員、貫田委員、林委員、廣江委員、松山委員、佐藤委員

■欠席委員（2名）

岡田委員、小椋委員

■出席者

手島町長

十勝総合振興局地域政策課 高林地域振興係長

石田政策推進課長、村上政策調整係長、佐藤主事

佐々木総務課長、中島総務課長補佐兼危機対策係長、西田魅力創造課長、小林魅力創造課参事、佐藤都市経営課長、大野健康福祉課長、仲野商工労政課長、橋本環境土木課長、齋藤環境土木課長補佐兼生活環境係長、有澤教育推進課長、日下生涯学習課長

■ 1 開会及び会長あいさつ

■ 2 諮問

芽室町から総合計画審議会に対して諮問

■ 3 議事

会長

諮問事項である第５期芽室町総合計画基本構想見直し案及び後期実施計画案について、事務局から説明する。

事務局

計画案策定にあたり、町民のニーズを反映させるため、町民２,０００人を対象としたアンケートの実施、町民と町長の意見交換である、めむろ未来☆ミーティングの実施、パブリックコメントを実施してきた。これらを踏まえ、総合計画審議会専門部会においてグループワークも含めて計５回にわたり審議いただき、本審議会においても、本日まで計３回にわたり審議いただいている。

また、町議会合同委員会への説明も随時行っており、町民、議会、行政が一体となって検討した内容となっている。本日、答申をいただいた後、９月最終日に議会提案させていただく予定である。

会長

計画案の内容についてはこれまでの審議会で審議しているが、質疑や意見はあるか。

(質疑・意見なし)

それでは当審議会として、諮問のあったとおり答申することとしてよろしいか。

(異議なし)

■ 4 答申

会長

それでは異議がないことを認め、計画案は諮問どおり答申する。

(会長による答申書への署名及び手島町長へ答申)

手島町長

総合計画審議会に皆さまにおいては4回にわたり慎重審議いただき、感謝したい。この答申を議会提案に反映させていただく。

総合計画は今後4年間におけるまちの最重要計画であり、行政が中心となって取組を行っていくこととなるが、今後も委員の皆さまと共にまちづくりを進めていきたい。引き続き町政へのご協力及びご意見等お願いしたい。

※手島町長退室、十勝総合振興局地域政策課 高林地域振興係長入室

■ 5 調査事項 (I) 2021 年度(令和3年度)戦略施策評価について<資料3>

会長

本日は十勝総合振興局地域政策課より、高林地域振興係にオブザーバーとして参加していただく。調査事項終了後、一言感想をいただきたい。それでは調査事項に入る。

①産業活性化プロジェクト

会長

この戦略施策について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

会長

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

(異議なし)

②雇用促進プロジェクト

委員

起業支援に関して、起業したい方から「家賃が高い」という声を聞いた。手厚い支援を検討いただきたい。

仲野商工労政課長

起業も含めて既存企業者の経営の継続や経営承継も含めて、支援は非常に重要と考えている。令和5年度から開始期となる第5期芽室町総合計画後期実施計画においても起業支援について謳っており、これから具体的な起業支援策を検討していきたい。

会長

他に意見・質問がなければ評価に移る。

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

（異議なし）

③定住促進プロジェクト

会長

この戦略施策について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

会長

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

（異議なし）

④関係人口創出プロジェクト

委員

ふるさと納税について、少額返礼品を増やすことで寄付者数が大幅に増えていると記載があるが、少額返礼品を除いた寄付者数は把握しているか。

西田魅力創造課長

資料は持ち合わせていない。

委員

少額返礼品はリピーターを増やすことを目的としていると記載があるが、リピーターが

どの程度増えたのか把握しているか。

西田魅力創造課長

正確な数値は把握していないが、実績をみると半数程度リピートいただいていると感じている。一度寄付していただいた方には随時ダイレクトメッセージを送付しており、新たな返礼品等の紹介をしている。

委員

ふるさと納税の寄付額は年々増えている。手島町長２期目の公約にもあるとおり、引き続き頑張っていたきたい。

委員

関係人口創出についてであるが、揖斐川町、広尾町など他地域との交流について、子どもは学校で関わる機会があるが、大人になると関わる機会がないと感じている。コロナ禍があり、取組が難しいことも理解できるが、町民全体が関われる仕組みづくりをお願いしたい。

西田魅力創造課長

広尾町との交流は今年で３６年目を迎えた。当初は多くの交流機会があったが、近年ではコロナ禍もあり交流機会が少なくなっていることから、昨年、３５周年という節目で給食交流を行った。今後も新たな取組を検討したい。他にも揖斐川町、アメリカのトレシー市、東京都台東区・墨田区との交流もあるが、委員がおっしゃるとおり、町民全体が交流に携われる仕組みづくりを検討していきたい。

委員

ふるさと納税の返礼品について、町民は芽室町にふるさと納税できないことから、町民がどのような返礼品があるのか理解していない。広報誌等で周知していくべきではないか。

西田魅力創造課長

おっしゃるとおり、どのような返礼品があるのか町民の方が知ってもらうことは大事である。今後、町民への周知を行っていきたい。

委員

観光物産協会としての意見であるが、まちの駅において、ふるさと納税の返礼品を置いてはどうかという意見がある。町の動きと連動していきたい。

会長

他に意見・質問がなければ評価に移る。

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

(異議なし)

⑤安心子育てプロジェクト

会長

この戦略施策について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

会長

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

(異議なし)

⑥安心生活プロジェクト

会長

この戦略施策について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

会長

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

(異議なし)

⑦輝くまちづくりプロジェクト

会長

この戦略施策について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

会長

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

(異議なし)

⑧観光振興プロジェクト

委員

新嵐山の展望台からみる景色は芽室遺産にもなっており、評価が高い。可能であれば、展望台の改修を早めていただきたい。

小林魅力創造課参事

新嵐山活用計画に基づいてイノベーションプランを定めており、その中で展望台の改修を謳っている。展望台は担当課としても貴重な資源として捉えているものの、これまでに展望台を活用した取組を実施した経過はあるが、収益を生み出すことが難しいと感じている。まずは、新嵐山スカイパーク内でより多くの集客となる取組を実施していく予定であるが、新嵐山活用計画の見直しの中で、展望台の改修について優先順位など議論していきたい。

委員

展望台のトイレについては早急に改修いただきたい。

会長

他に意見・質問がなければ評価に移る。

評価は担当課評価・経営戦略会議評価同様にCとしてよろしいか。

(異議なし)

■ 6 その他

会長

以上で調査事項は終了した。ここでオブザーバーとして参加いただいた十勝総合振興局地域政策課地域振興係長の高林様より感想を一言いただきたい。

十勝総合振興局地域政策課 高林地域振興係長

本日審議された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、北海道においても総合戦略に基づくプロジェクトを実施しており、十勝総合振興局では十勝管内におけるプロジェクトを推進している。定住促進を例にあげると、9月11日に十勝圏複合事務組合と連携し、十勝に移住した方の交流会を新嵐山スカイパークにて開催する予定である。当日は移住者30名弱集まる予定であり、新嵐山スカイパークを楽しんでいただき、十勝管外に情報発信していただきたいと思っている。この交流会が契機となり、管外の関係人口・交流人口を増やしていくと共に、管内移住者のネットワークが広がり、市町村の施策に活用できればと思う。

北海道のまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づくプロジェクトについては、1つの市町村だけでは解決できず、管内市町村の連携により取組を進めていきたい。引き続きご協力をお願いしたい。

また、本年6月に国はデジタル田園都市国家構想基本方針を発表しており、今までのまち・ひと・しごと創生総合戦略を推進しつつ、デジタルを活用した地方の社会課題解決を掲げている。引き続き、デジタルを活用する視点においても、まちづくりを進めていただきたい。

会長

今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

■ 7 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。

20:08